

ピックアップ

クラシックカーが集合

GO!GO!ラリーin東北

市民も手を振り歓迎

全国からクラシックカー愛好者が集まる「GO!GO!ラリーin東北」が9月30日と10月1日、南浜マリナーを発着点に行われ、約110台が秋の石巻路を駆け抜けました。初日は牡鹿半島などの沿岸部、2日目は仙台市から内陸部を通って石巻市に戻る300km余りのコースが組まれ、市中心部の沿道では市民が「おかえりなさい」と手を振りながら出迎えました。

俳優の唐沢寿明さんが発起人となった東日本大震災の復興支援イベントで、令和元年、昨年に続き3回目の開催になりました。唐沢さんも妻の山口智子さんと共に参加し、開会式では電動アシスト自転車の寄付目録が齋藤市長に贈られました。

GO!GO!ラリーin東北2023実行委員会(株式会社野村モータース) ☎95-2165
市観光課(内線3534)



SDGsイベント SDGsフェス

9月16日~25日
イオンモール石巻にて開催

Sustainable (サステナブル:持続可能な)
Development (ディベロップメント:開発)
Goals (ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

SDGsについてより多くの人に知ってもらい、身近なものに感じてもらうため、イオンモール石巻にて「SDGsフェス」を開催しました。

SDGs移住定住推進課(内線4224)

① 地元小学校の取組発表

大谷地小学校ではSDGsに積極的に取り組んでおり、使用済み洗剤の詰め替えパックを集めて作成したブロックや防災マップの展示などの取り組みを紹介しました。



② SDGsのサイエンスショー

さまざまな実験やパフォーマンスなどを行うサイエンスショーが披露され、来場者からの歓声が沸き、関心を引きました。



③ SDGsのワークショップ

自動販売機をパーパークラフトで作るワークショップが開催され、参加した子どもたちはお父さんやお母さんと一緒に楽しみながら、オリジナルの作品を作り上げていました。



④ SDGsのパネル展示

企業・団体などによるSDGsの取り組みの紹介やSDGsのゴール解説、本市の環境に関する取り組みを掲げる特設コーナーを設け、多くの方がご覧になりました。



みんなのた場

サークル仲間 145

河北公民館 趣味の教室 (陶芸)

楽しく作るこれが一番

河北公民館は「趣味の教室」として健康体操、陶芸、料理の各教室を催しています。本年度は、10～12月にいずれも河北総合センタービッグバンの二室で活動し、笑顔の輪と趣味の幅を広げています。

10月8日と15日には陶芸教室があり、女性5人が参加。登米市東和町にある東和焼瑞樹窯の笠政彦さんが講師を務め、1人1キの粘土を使ってマグカップや皿、花挿しなどの制作に挑戦しました。

板状にした粘土を丸くくり抜いて陶器の底にし、ここにひも状にした粘土を巻き上げ



ろくろを回転させ、形を整えます

て高さを出します。焼いた時にひび割れないようにしっかりと隙間を埋め、なでるように表面をならしていきます。

「焼くと15%ぐらい小さくなるので、この辺も想定しながら大きさを決めるように」「手のひらで粘土を挟めば指の跡が付にくいよ」と笠さん。「先生手直ししてくださ

い」の声もかかり、笠さんが手動のろくろを回すと見る見るうちに凹凸が消え、滑らかになりました。

昨年も参加したという阿部静江さんは、コーヒー用のマグカップを作りました。「不器用だけでも、自分で作るか



趣味の教室に参加する皆さん

らこそ愛着が湧くと思うので、完成したらゆっくり眺めつつ、おいしいコーヒーを飲みたい」と待ちわびていました。

阿部さんに誘われて初参加の武山ゆう子さんは、総菜を乗せる皿作りに臨みました。真ん中に描いたのは大好きなツバキの花。「お花もやっていたので花器も作った経験はあります。でも土に触るのは7～8年ぶり」とワクワクしながら感覚を思い起こしていました。

作品は笠さんが工房に持ち帰り、底の部分を仕上げた後、乾燥させて油薬(うわぐすり)を塗り、時間をかけて焼き上げます。完成まで約1カ月。なお作品の一部は11月3～5日に開かれる「かほく文化祭」に展示されます。

笠さんは「焼き物にルールはなく、楽しみつつ、自分のやり方で作るのが一番」と話していました。この言葉通り、参加した皆さんは粘土に向き合いつつも会話を弾ませ、笑顔で楽しんでいました。

ささえあいセンター通信 16

ささえあいセンターの利用を再開しました!

新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場として利用していたため、一部利用を休止していましたが、下記の部屋の一般利用を再開しました。

- ・ささえあいホール
- ・ボランティアルームA・B
- ・ミーティングルーム
- ・子育て交流室

※施設の利用は無料ですが、事前予約が必要です。



開館時間 午前9時～午後9時30分
休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

ささえあいセンターは、誰もが利用しやすい施設として整備を行っており、その一つに「ヒアリンググループ」があります。

「ヒアリンググループ」とは、テレコイルを備えた補聴器や人工内耳に目的の音声だけをクリアに届けることができる、難聴者の聞こえを支援する設備です。周りの騒音や雑音に邪魔されず、目的の音や音声だけを正確に聞き取ることができます。

☎ 石巻ささえあいセンター総合受付
(午前9時～午後5時)
☎ 0225-25-6099
保健福祉総務課(内線2466)



▲ヒアリンググループ



ささえあいセンター
ホームページ



石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより

第40号

こんにちは、桜坂高等学校です。
7月27日、中学校3年生を対象としたオープンキャンパスが開かれました。今回は、その様子をご紹介します。



オープニングでは、吹奏楽部による素晴らしい演奏で中学生を歓迎しました。

学校紹介では、桜坂タイムの学習や学校行事の取り組みについて映像とともに説明しました。

各係の生徒達は、緊張した面持ちながら、堂々と発表をしていました。

また、部活動見学では、各部とも日々の活動で培った知識や技術をアピールし、桜坂の良さを伝えることができました。



たくさんの方に来校いただき、ありがとうございました。
桜坂高校では、皆さんの入学をお待ちしています。



石巻 市民ゆかりの地が映画のロケ地に

映画「キリエのうた」試写会

石巻がロケ地の一つとなった映画「キリエのうた」(10月13日公開)の試写会が、8月23日にイオンシネマ石巻で行われました。当日は、仙台出身の岩井俊二監督と主演のアイナ・ジ・エンドさんが舞台あいさつに登場し、アイナさんが劇中歌を披露する一幕もありました。舞台あいさつの前には齋藤市長が岩井監督のもとを訪れ、和やかな雰囲気に対談が行われました。映画では、羽黒山鳥屋神社や日和山、矢本駅などがロケ地として使用され、今後、オフショットの展示が市内で行われる予定です。



映画「さよならほやマン」試写会

映画「さよならほやマン」の試写会が9月10日、ビッグバンで開かれ、監督した湊出身の庄司輝秋さんが舞台あいさつしました。美しい網地島で繰り広げられる心温まる家族の物語で、11月3日(金・祝)に全国公開です。集まった300人以上の市民を前に、応援協会長の齋藤市長らと共に登壇した庄司さんは「網地島は子どものころの思い出があり、いつかここで映画を撮りたかった」と初の長編作品となった映画への思いを語りました。



河北 おいしく食べて元気!

児童らお好み焼き作り

市が主催する食育イベント「おいしく食べてげんきこ」が10月3日、飯野川保育所で行われ、4歳児クラスの8人がお好み焼き作りに挑戦しました。小松菜と小ねぎ、さらに石巻が発祥とされるばたんちくわを使ったお好み焼きです。児童たちは栄養士に教わりながら生地を混ぜ、鉄板の上での返しも体験しました。減塩ソースやかつお節を振りかけて試食すると、「おいしい」「おかわりしたい」と笑顔を見せていました。



雄勝 未来に残る地上絵制作

芸術家と児童生徒共同制作

雄勝地区と縁の深い芸術家の安井鷹之助さん(東京都在住)が雄勝小・中学校を訪れ、児童生徒と地上絵の製作を行いました。安井さんはこれまでも雄勝地区で防潮堤に絵を描く「海岸線の美術館」や、同小・中学校の子どもたちと壁画制作を行ってきました。「大人になっても子どもの頃の痕跡が残る場所を」と階段状の中庭を洞窟群に見立てて下絵を描き、そこに子どもたちが自由に絵を描いて完成させました。



河南 「仙北陸上」歴史に幕

小学生161人が躍動

「第81回仙北陸上競技大会」が9月23日、和渕水辺の楽校で行われ、市内外から参加した小学生161人が全20種目で日頃の練習の成果を発揮しました。昭和10年から続く同大会は、地元有志の「白楊クラブ」が主催してきましたが、地域に競技を根付かせる当初の目的を達成したとして、今回が最後になりました。選手たちは家族や仲間の声援を受けて河川敷のグラウンドで躍動し、有終の美を飾る走りを見せていました。



桃生 550人躍動のパレード

4年ぶりはねこ踊りフェス

桃生地区最大のイベント「もうふれあい祭2023はねこ踊りフェスティバルin桃生」が9月9日、桃生植立山公園で4年ぶりに開かれ、地域内外から1万2千人が来場しました。コロナ禍前と同様にはねこ踊りコンテストが盛り上がったほか、メインのパレードでは、小気味よい笛や太鼓の演奏に合わせて約550人の踊り手が躍動感ある舞を披露しました。フィナーレでは、約600発の花火が打ち上げられました。



北上 米も学びも大収穫

北上小学校稲刈り体験

北上小学校の3年生13人が9月19日、地元の大沢川近くの田んぼで稲刈りに挑戦しました。児童は一人一人鎌を持ち、教諭や地元農家らに見守られながら約100㎡の田んぼで黄金色に実った稲穂を次々と刈っていました。稲刈りは総合的な学習の一環で、3年生は毎年、田植えから米作りを体験しています。収穫した米は精米し、正月用に餅つきをするのが毎年の恒例です。



牡鹿 地元笑顔と元気を

牡鹿中学校伝統芸能を披露

9月26日、牡鹿中学校生徒によるESP(笑顔創造プロジェクト)が実施されました。地域の住民に笑顔を届けることを目的として、赤いハチマキと法被を身にまとった生徒たちは、バスで移動しながら牡鹿地区のさまざまな場所で、牡鹿中学校の伝統芸能である「侍ソーラン」を披露しました。大きな掛け声に合わせて、体全体を使った動きは圧巻で、地域住民の皆さんに笑顔と元気を届けました。

